

小学生高学年になった私はクラスメイトより中学生の先輩と仲間になることが多くなりました。それは近くに住む中学2年のもの知りの吉原先輩が私に星の話をよくしてくれたのがきっかけでした。

ある日「今日は君と同じ年のジョージという外国人の家に連れて行く」と言うのです。彼の家は中区の鷺山でしたので歩いても行かれる距離でした。「彼も君と同じで宇宙や星に興味を持って一緒にいる子だ、今夜は彼の自宅のお庭でゆっくり星を見るのだ、夕食が終わったら一緒にいこう」と誘われたのです。ジョージは楽しい子でした。後年、ジョージは鎌倉で行われた外国人の「のど自慢」で「銀座カンカン娘」を歌って優勝し、その後文化放送にスカウトされて「電報クイズ」の司会者になっていた「ジョージ ルイカー」とわかって懐かしくもあり、驚きもしました。今と違って街の照明も少ないし、満天の夜空に天の川まで見えて吉原先輩の知識も思う存分2人に伝わりました。彼は「人のふるさと地球以外の星なんだ赤ちゃんはさそり座のタイゲータと言う星、ジョージはしし座の(残念だが名前は失念)星だ」先輩の話には説得力がありました。その日からタイゲーターは私のふるさとと言う考えはなぜか今も変わってはおりません。

翌日、近くにある太陽社印刷所の社長の長男で栗原照夫さん(私はこどもの時からテーちゃんと言って兄のように慕っていました)に会った時、その話をしましたら、自分も経験があるが、宇宙やその果てのこと考えたら眠れなくなつて苦しむぞと言われました。この方も戦前大船撮影所で俳優になり、戦後はジャズバンドを率いて「スマイリー小原」と「踊る指揮者」で一世を風靡したのです。

さて、戦後、貧富の差が広がり、閣屋上がりのお金持ちもいて、社会的にハイソサイテイーと呼ばれる人が現れた頃、その人たちに向くような社会人学校を創りたいと言う友人がおりお手伝いをしました。その学校の先生の選択の中でフランス文学者の平野威馬雄先生はどうか、お話も面白いしと私が提案したら、それはいい、交渉を君に頼むと言われたのです。彼はハーフと言われてつらい思いもしたことがあるので、戦後、ハーフの子を集めハーフ仲間の佐藤美子さん等ともに里親を紹介していたことを聞いていたので訪ねると、即座に「いいお話じゃないか、やってもいいよ」のお言葉を頂いたのです。「ところで松永君、UFO見たことあるか」突然の質問があったのです。実はタイミング良く1週間前、桜木町駅前であの絵に描いたような円盤が鈍い光を放っているところを見たのです。

当時、NHKの中条プロデューサーが見たと言うので、見た者の会を平野先生が創ったばかりで、3人目が私と言うことになり奇遇だと言っていました。でもその後4人目が現れたことは聴いておりません。先生は料理家の平野レミさんのお父さんです。何か空や宇宙や星につながっている人脈ですね。そんなこともあって、松永に頼めば結構名のある人を講演者に頼めるぞと言う噂が出て、いろいろな団体から有名人の講師の依頼がありました。

さて昔、私が中学に入った年の暮れに太平洋戦争が始まり、2年の秋に「学校閉鎖、生徒は軍需工場に勤労奉仕」になったのですが、その情報をいち早く察

《白寿のあゆみ/蒲田敏峰鎌倉彫展》

6/6(木)~6/11(火)馬車道アートギャラリー  
ザ・シワクチャーズの蒲田敏子さん99歳直前の作品展。  
あかいくつスタジオに詳細ご案内葉書がございます。



【左・写真上下】こどもミュージカル・メンバー  
山下公園の「赤い靴はいた女の子像」を訪ねる  
【右・写真】「ワタシノユメ」けい古風景



今後のスケジュール

5/5(日) こどもの日コンサート 横浜みなとみらい大ホール 1回目 13時~14時 小学生より高校生 1000円 大学生以上 2500円 2回目 15時30分~16時20分 0歳~高校生 1000円 大学生以上 2500円
5/20(月)~22日(水) 横浜みなとみらい大ホール 「ゴールデンウェーブ in 横浜」 ザ・シワクチャーズ横浜出演 21日(火)Dプロック10:40頃 入場料500円 事務局にあり
5/25(土) 山下公園 石のステージ(マリンタワー前) 祝 横浜開港160周年式典 出演 五大路子・ありあけ会長 赤い靴ジュニアオーラス 12:00~
6/16(日) 関内大ホール 中区ダンスフェスティバル 第1部 12:50~第2部 18:00~ 入場料 各部 600円
7/27(土) 28(日) 関内小ホール 赤い靴の少女像40周年記念公演 横浜市民こどもミュージカル 「ワタシノユメ」3回公演

知して飛行学校に転校したのも、こどもの頃からの宇宙、空、星のおかげかもしれません。飛行学校を終えた後の配属先も今の韓国で「宙第543部隊」という名前でした。2年間航空学をバッチリ勉強したのですが、敗戦直前の日本には戦える飛行機はなかったのです。そのおかげで私は現在の歳まで健康で命長らえたのですが、未だに宇宙の夢に酔っているのです。実は先日の報道で小惑星「りゅうぐう」に到着した「はやぶさ2号」が数々の研究を重ね2020年に戻ってくるという夢プロジェクトに今は夢中です。地球から3億キロメートル。直径900メートルの超小惑星に「はやぶさ2」はなんと直径18cm高さ7cmのものが2個。このような機器がどうして「りゅうぐう」を探せるのか。弾を発射して土砂をとれるのか、それを積んで再び日本に戻れるのか、かつては正に夢物語でした。でも早く亡くなって星に帰った吉原先輩は月を見ながら「将来月を人が歩ける時代が必ず来る」と言っておりました。「赤ちゃんは誰よりも月の近くまで飛行機で行かれるんだね、羨ましい」とも言っておりました。

実は宇宙飛行士の「アーム・ストロング」さんが月面に降りてから今年50年になるのです。3年前山口県で行われたボーイスカウトの「世界ジャンボリー」でこんな話題がありました。月面を歩いたアメリカの飛行士13人の内12人はボーイスカウト出身者であると言うことです。私自分の冒険心や宇宙熱も少年時代ボーイスカウトの野外訓練などで培ったものかもしれません。横浜生まれの宇宙飛行士「野口聡一さん」もアメリカのデーターからボーイスカウトに入っていた方が試験に有利だときいてボーイスカウトの団員になったと言います。

さて「ワタシノユメ」というタイトルで昨年のマグルコンペで最優秀賞の横浜市民こどもミュージカル40名が稽古を開始しました。今年は私たちが建てました山下公園の「赤い靴はいた女の子」が40周年を迎えるので、その感動的なドラマだそうで7月28日(日)関内小ホールです。楽しみにしています。そして、10日間の連休の中5月5日はみなとみらい大ホールで赤い靴ジュニアオーラスが、「こどもの日」コンサート出演です。そして、同じホールでザ・シワクチャーズ横浜が5月21日(火)Dプロック10:40:40ゴールデンウェーブに出演します。応援をお願いします。2019.4.30 団長 松永 春

「令和」の時代にすてきな出会いと感動を更に積み重ねましょー!